



「化学物質リスク評価と Weight of Evidence」

リスク評価の国際比較と Weight of Evidence 活用についてのワークショップ
プログラムと申込み

ケイ素化学協会では国際ワークショップを協賛団体と協力して開催致します。

開催日時： 2019年10月24日（木）9:30-17:00（9:00受付開始）

17:00-18:30 懇親会も予定

参加費： 無料

懇親会費： 1,000円

場所： ステーションコンファレンス東京 6F 会議室 605 A, B, C

<https://www.tstc.jp/tokyo/access.html>

内容： 近年プラスチック、化学物質が人や環境に与える影響について社会的関心が高まっています。その一方で化学物質が人の健康や安全を守る上で重要なものであり現代の産業に欠かせないものでもあるとの認識もされています。両者を適切にバランスさせるためにはサイエンスベース、リスクベースの化学物質の評価と管理が重要と言われております。そこで、このワークショップでは国内外のこの分野の専門家を講師に招き海外主要国での化学物質のリスク評価方法および「Weight of Evidence」の活用について紹介します。またこのテーマについて専門家によるパネルディスカッションも予定しています。

申込：

お申込は以下のリンクからワークショップ事務局宛にお願い致します。

定員に至り次第締め切らせていただきますのでどうぞご了承お願い致します。

<http://www.siaj.jp/ja/workshop/>

当日受付の際にお名刺を1枚ご用意していただけますようお願い致します。

主催：ケイ素化学協会

協賛：日本化学工業協会、日本化学会、

American Chemistry Council、International Council of Chemical Associations

Global Silicones Council、シリコーン工業会

問い合わせ先： 2019 ワークショップ事務局（シリコーン工業会内）

電話：03-3592-1672



化学物質のリスク評価と **Weight of Evidence**

ワークショップ

日時：2019年10月24日（木）9:30（受付開始 9:00）

会場：ステーションコンファランス

東京都千代田区丸の内 1-7-1 サピアタワー 6F 605 会議室

<https://www.tstc.jp/tokyo/access.html>

当日受付の際にお名刺を1枚用意していただけますようお願い致します。

プログラム

英語・日本語の同時通訳つきとなります。

スケジュール	内容	講演者
9:30	主催者挨拶	群馬大学教授 ケイ素化学協会会長 日本化学会前副会長 理学博士 久新荘一郎
9:35	ワークショップの目的	Dr. Kathleen Plotzke ICCA-LRI Chair, Dow Chemical U.S.A.
9:45	化学物質リスク評価の国際比較 -基本的なフレームワーク	一般財団法人 化学物質評価機構 関沢 舞 田辺 愛子
10:15	化審法における化学物質のリスク評価の フレームワーク	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 参事官 村田 麻里子
10:45	Canadian Approach for Evaluating Chemical Safety under the Chemicals Management Plan (CMP)	Joyce Borkhoff Vice President – Chemicals Group Health, Environmental & Regulatory Services, Intertek
11:15	休憩	
11:30	Australian Approach for Evaluating Chemical Safety under the IMAP Program	調整中

スケジュール	内容	講演者
12:00	US Approach for Evaluating Chemical Safety under the Amended TSCA	Jane Staveley, M.S.P.H. Senior Managing Scientist, Exponent
12:30	昼食 (お弁当配布)	
13:30	Evolution of the Science Associated with PBT Determinations: Implications for Ecological Risk Assessment	Professor Frank Gobas Simon Frasier University
14:15	Advances in the Science Associated with Assessment of Environmental Persistence	Prof. Dr. Michael Matthies Institute of Environmental Systems Research University of Osnabrueck
14:45	Case Study: Practical Application of Framework for Risk-based Chemical Evaluation – Case Study	Dr. Ellen Mihaich Adjunct Professor Duke University, President of Environmental and Regulatory Resources
15:15	休憩	
15:30	Why Use of WoE Represents Good Policy for Human Health and Environmental Protection	Dr. Kathleen Plotzke Chair ICCA LRI
16:00	パネルディスカッション	
16:45	挨拶	一般社団法人 日本化学工業協会 化学品管理部 部長 山根 裕一
17:00-	懇親会	